

鳥取 YEG 通信



発行:平成31年1月15日
鳥取商工会議所青年部
総務広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信

January 2019

平成30年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 杉内 勝成
有限会社 杉内

新年あけましておめでとうございませう。会員企業の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は当青年部活動に、多大なるご理解ご協力と温かいご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

なお、昨年延期とさせていただきますました、鳥取商工会議所青年部創立40周年記念大会は3月16日に開催する運びとなりました。記念講演につきましては講師の日程調整がつかず、やむなく中止とさせていただきます。講演を楽しみにしておられた皆様には心よりお詫び申し上げます。

さて、来る5月1日には元号も変わり、新たな歴史が始まる年となります。また鳥取商工会議所青年部が設立より41年となり、先に続く45周年さらに50周年への幕開けの年でもあります。商工会議所青年部の歌の一節に「歴史の舵はいつの世も熟ある者が取ってきた」とあるように、我々青年部も40年の歴史と伝統をしっかりと継承しながらも、今の時代に即した形へと進化を遂げていきたいと思っております。そして、全国屈指の青年経済団体になるべく、今後5年間の中期ビジョンを策定し、更なる成長を目指し活動してま

いります。

これまで単年度事業が多かった青年部ですが、近年は継続的な事業も実施しております。昨年11月30日に開催した、「因幡千本桜の園」桜植樹樹木贈呈式もその一つです。我々青年部は昭和54年の設立以来、さまざまな事業に着手し、数多くの成果を上げてきました。その中でも、「因幡千本桜の園」事業は鳥取市に新たな桜の名所を造ることを目的に、昭和58年に着手され、昭和61年に完成いたしました。現在は鳥取県内でも有数の桜の名所となりましたが、年月の経過と共に桜の木が減少してまいりました。そこで、平成28年度から5年計画で桜植樹を開始。3年目となる今年度は、松保保育園より年中・年長の園児にご参加いただき、賑やかな桜植樹樹木贈呈式となりました。現役青年部会員の中には、30数年前の植樹に参加された方がいます。将来、園児達が子供や孫を連れて「桜の園」を訪れてくれることを願うと共に、時代を越えこの景色を残していくことは青年部の使命だと強く思っております。

本年も我々青年部は、地域を支える青年経済団体として、ふるさと鳥取の更なる発展のため、まち興し事業や、行政への政策提言はもとより、新たな取り組みにも果敢にチャレンジして参ります。会員企業の皆様には、昨年同様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。最後になりましたが、皆様の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

因幡千本桜「桜の園」 桜植樹樹木贈呈式

11月30日(金)、コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク(鳥取県立布勢総合運動公園)にある因幡千本桜「桜の園」で、桜植樹樹木贈呈式を行いました。鳥取YEGの先輩方が、その完成にご尽力された因幡千本桜「桜の園」。今では鳥取市を代表するお花見スポットとなり、その季節には園内一面に見事な桜並木が広がっています。種類によっては30〜40年がピークとも言われる桜の樹木。残念ながら本数が減少してきていることから、YEGでは一昨年度から5年計画で植樹事業を開始し、本年度は3年目にあたります。

贈呈式には、鳥取県生活環境部次長・住田剛彦様、鳥取県体育協会名誉会長・油野利博様にお越しいただき、ご祝辞を賜りいただきました。また、松保保育園の年長組28人と年中組35人の園児の皆さんにもご参加いただき、かわいらしく元気な声が響く中で樹木贈呈式が行われました。

贈呈式後、園児の皆さんと共に植樹作業へ。本年度はヤマザクラ、ジンダイアケボノサククラ計30本を植樹。植樹エリアが広範囲にわたり、YEGメンバーは水の入ったバケツとスコップ片手に園内を歩き回るようになりましたが、苗木に土をかけながら「お〜きくなつてね!」と、明るく大きな声をかける園児の皆さんに元気をもらい、無事植樹作業も終了しました。広がる青空の下、「桜の園」を駆け回る園児の皆さんを見て、先輩方の偉業を引き継ぐとともに、四季を通じて楽しめる因幡千本桜「桜の園」の魅力の後世へ伝えていきたいと感じられる桜植樹樹木贈呈式となりました。

総務広報委員会

副委員長 恩田奈津江



目録贈呈



参加の皆さん

12月例会・クリスマス家族懇親会

日時 平成30年12月19日(水) 18:30~21:00
場所 ホテルニューオータワ鳥取 鶴の間

今年も残りわずかとなり、来年には新元号を迎えることとなります。平成最後の開催となる12月例会・クリスマス家族会は鳥取まち興し委員会が担当しました。家族みんなで楽しんでほしい、そして感謝を伝えたい、そんな思いを胸に秘め、当日を迎えました。今回も100人を超える多くの会員、ご家族のみなさまにご参加いただきました。

恒例のビンゴゲームに加え、新しい試みで「人探しゲーム」を企画しました。ヒントをもとに会場を駆け回る子供たちの姿がとても印象的で、最後はお楽しみの景品発表！和気あいあいとした時間が流れていきました。最後に各委員会での事業活動を記録したプロモーションビデオを上映し、ご家族のみなさまにご覧いただきました。

鳥取YEGはここ数年で会員数が160人を超え、平成29年度の会員増加率では全国1位の単会となりました。会員数が多いほど事業達成の大きな力となりますが、会員一人一人に個性があり、それぞれの考え方があります。それを集約し一つの答えを出すのはとても大変ですが、事業を達成するためにメンバーで集まり議論を重ねています。

我々が積極的に参加できるのも、家族のみなさまのお力添えがあつてこそと考えます。これからも「家族」のような仲間とともに引き続き頑張つてまいりますのでご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

鳥取まち興し委員会
副委員長 荒川 恵介



ビンゴ大会の様子



サンタ&トナカイさんからのプレゼント

政策提言委員会

岡山視察

11月29日(木)、政策提言委員会メンバー4人で、岡山県商工会議所青年部連合会主催の郷創塾に参加するために、岡山市へ視察に参りました。郷創塾には講師の日本YEG政策提言委員会委員長の高久臣平氏をはじめとし、日本各地のYEGメンバーが参加され、政策提言の事例・プロセスなどを学ばせていただきました。また、郷創塾終了後には過去に政策提言をされた岡山YEG委員長、常務理事3名をお招きして、意見交換会をさせて頂きました。貴重なご意見、アドバイスを頂戴し今後の提言書作成に向けて大変有意義



岡山郷創塾の様子



岡山視察意見交換会

な視察となりました。岡山YEGの皆さま大変お忙しい中、お時間をつくっていただきありがとうございました。政策提言委員会 副委員長 松島新太郎

平成30年度東部青年経済団体協議会(五青協)と鳥取環境大学生との意見交換会

11月16日(金)、公立鳥取環境大学にて、「鳥取県東部青年経済団体協議会(五青協)と鳥取環境大学生との意見交換会」を開催しました。毎年、五青協の交流事業は行っており、今年度はYEGの主管で、初めて大学生との意見交換会を実施しました。「鳥取の元気って何?」というテーマを軸に、学生から見た「リアルな」鳥取の良さや物足りない部分を聞き、東部を中心に地域のために活動している五青協の代表者からも様々な意見や質問が交わされました。

若者の新鮮な視点は、地元鳥取のために今後、何をすべきかのヒントをいただく有意義な機会となり、改めて鳥取のストロングポイントを認識する事ができました。ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

会員交流委員会
担当副会長 石畑 美幸



意見交換会の様子

新入会員



尾田 政和 君
(おだまさかず)
事業所名 ㈱アバンス
所属委員会 会員交流委員会



藤原 あすか 君
(ふじはらあすか)
事業所名 日中東北物産(有)
所属委員会 鳥取まち興し委員会